

集客促進ツール『AIスランプウォッチャー』データ分析Webサービス『遊動's EYE』
業務改善ツール『コンパクト賞品保管機』

業界初の集客促進策ほか 注目3ツールで業績向上

業界初の試みが拓く
新たな遊技の楽しみ

今年40周年を迎える横浜市旭区の有力ホール《スタジアム二俣川店》が今、グローリー製品稼働促進ツールのなかで注目しているのが、今年3月にリリー

スされた業界初のサービス『AIスランプウォッチャー』だ。過去のスランプグラフの波をもとに、3時間後の波をAIが予測するもので、台選びや遊技の継続を思案するユーザーの行動をそつと後押しする。対象はパチンコのみ。ユーザーの利用は店内を前提として



ユーザー向けに『AIスランプウォッチャー』の案内ポスターを用意している。



《スタジアム二俣川店》
神奈川県横浜市旭区二俣川1-1-5
総台数425台 (P268台/S157台)

集客促進から業務改善まで、ホール営業の質を高めるグローリー製品。有力ホール《スタジアム二俣川店》に導入効果を聞いた。

AIスランプウォッチャー



【店内各台でQRコードを読み込む】

■着席したくなる・続けたいくなるデータの新生活用

AIが過去のデータを分析し、3時間後の波を予測する、遊び心満載の新しいユーザー向けサービス。パチンコ台が対象で、ユーザーの利用は店内を想定。『PAPIMONavi』で当該機種種の遊び方、出玉情報とともに『AIスランプウォッチャー』を利用できる。

【その台のAIスランプウォッチャーを閲覧】

おり、『PAPIMONavi』で当該機種種の遊び方、出玉情報とともに利用できる。
同店を運営する株クラウンズの佐藤丈志営業部長は、「非常に面白い機能だと思います。お客様の中には昔から出玉の波を頼りに打つ方もいますので、お客様を楽しませるサービスのひとつだと捉えています」と話す。
同店では1人で楽しむよりも、仲間同士や常連同士のコミュニティで楽しめるサービスとして、甘デジの海物語コーナーから試



株クラウンズ
佐藤丈志営業部長

験的に導入を開始している。そのため現在は、年配層を含めた利用導線の構築を進め、今後はパチンコ全台に利用を広げたいという。
PAPIMONET「大当り情報公開サービス」の契約ホールは、無料で追加設定ができる。

遊動's EYE



■一目でわかる自店顧客データ
遊技台の稼働だけではない、遊技人数、属性、会員数など、遊技客目線の分析に必要なデータが一目で把握できる。機種やレート別で、支持されている年齢層の可視化も可能。さらに、分析した結果の次の選択肢まで提案する。

イベント	実施日	コスト	集客効果	売上増	遊技増	賞品増
来店イベント(来店)	2024/01/06	100,000	45%	1,200,000	1,500,000	500
ファン感謝デー	2024/12/28	100,000	75%	2,500,000	3,000,000	1,000
プロダクトイベント	2024/12/11	100,000	70%	1,800,000	2,200,000	800
イベント平均(比較)		1,000	13,333,400	2,000,000	2,000	

■イベント効果比較とコスト検証分析
イベント実施日とその他営業日の遊技人数、売上、粗利などの比較が容易に行える。演者の来店があれば、その費用対効果も確認できる。指定した日での比較もできる(複数選択可能)。AIによる細かい解説はボタン一つで生成される。

有効な次の一手を生む イベント分析と相関分析

一方、遊技人数や属性、会員数など、自店の顧客分析に必要なデータが一目で把握できるのが『遊動's EYE』だ。佐藤部長は主にイベント集客の効果検証に役立てているという。
「例えばイベントの朝イチの集客状況を時間系列で細かく分析することで顧客の期待に込められているかを判断できます」と語る。
より精緻な顧客分析は、ホール運営上、非常に重要な増台・減台・撤去のいち早い判断に貢献する。『遊動's EYE』では、自店の設置機種を自店と全国のアウトを偏差値化し「ベスト」「マッチ」「ミスマッチ」「ワースト」の4つに分類。同店でも分析結果を機種選定に活用している。
なお、グローリーナスカでは近日、台入替の効率化に資する相関分析の新たなオリジナル機能をリリース予定。『遊動』に関するオンラインセミナーも定期開催しており、ホール営業の知見を深める場を提供している。

セルフ化で負荷軽減 少人数運用も可能

同店の業務改善の一つとなっているのが、2024年10月から設置する『コンパクト賞品保管機』を活用したセルフPOSシステムだ。将来的な少人数運用を想定し、地域に先駆けての導入だった。
導入後は操作性の容易さもあり、年配客や初めてのユーザーもすぐに慣れ、スムーズな運用が行われている。
現場スタッフからは賞品管理の効率化に対する評価が高い。
佐藤部長は「以前と比べて、賞品補充にかかる時間が大幅に短縮されました。カセット方式に加えて金庫としての機能もあるので、閉店後の管理負担も減っています」と話す。労力が軽減された分はサービス力の強化に努めている。
同店では稼働促進と業務効率の同時進行で、遊技客とスタッフの負担を減らす「良い方向のスパイラル」を目指している。

コンパクト賞品保管機



■コンパクトだから思い通りのセルフ化を
横幅50cm、奥行き65cm、高さ約118cmのコンパクト設計で、様々なシチュエーションでセルフ化をサポート。専用の賞品ケースを使用しており賞品の装填も簡単。スタッフの作業負担の軽減に寄与する。利用客にとっても賞品の払出部が確認しやすい。